

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 7月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3070104330		
法人名	社会福祉法人 山口葵会		
事業所名	グループホーム山口葵園		
所在地	和歌山県和歌山市藤田25-1 (電話) 073-461-5757		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪府大阪市天王寺区堀越町1-1		
訪問調査日	2009.7.17	評価確定日	2009.8.21

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 1月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 3人, 非常勤 7人,	常勤換算4.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	3 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9 名	男性 名	女性 9 名
要介護1	2	要介護2	1
要介護3	5	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 87.4 歳	最低 83 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山口葵園診療所、誠佑記念病院、錦貫整形外科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑が広がる静かな場所で運営されています。近くには幹線道路があり、スーパーなど大型店舗等もあり、生活をするのには良い環境だと感じました。ホーム自体は、長年、この地域で母体法人が福祉事業を展開している事もあり、知識や経験が豊富にあり、グループホームでもそのノウハウを活かした取り組みをされていました。ホーム職員は、理念にある様に、信頼される様、入居者の方や、そのご家族とも積極的にコミュニケーションをとられ、関係づくりに尽力されていました。また、畑づくりなど、入居者の方の経験を活かした取り組みもされておりました。総合的に、入居者やご家族が安心して利用して頂けるよう、工夫しながら、取り組まれていました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 法人全体として関わりをもっておられます。市町村との連携もあるものと考えます。ホーム単一では、なかなか難しいと思いますが、研修会などの機会に市町村の参加を呼び掛け、交流するなど、何か出来る事を検討して頂き、市町村を巻き込みながらサービス向上に取り組んで頂く様期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価だけではなく、改善会議で、改善事項があれば話し合いを持たれています。今回の評価についても、話し合いが行われ、管理者が取りまとめておられました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 社会福祉協議会、民生委員、地域包括支援センター、ご家族が参加し、日課や外部評価の報告やホームの課題について話し合いが行われていました。また、会議やその他、外部評価等で現れた課題についても、サービス向上に向けての取り組みが行われていました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 法人内で苦情委員会を設置されています。迅速に対応する仕組みがありました。また、意見や苦情などは改善出来る事は改善に向けて取り組んでおられました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 文化祭や小学校の運動会に参加。また、ホーム内でボランティアによる喫茶をするなど、地域交流に尽力されていました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	同一法人の他事業と共に、連携を図りながら、地域から信頼され愛される施設づくりを理念として掲げて取り組んでおられます。長年、母体法人は地域で福祉サービスを展開されている事もあり地域の信頼を得ていると感じました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議やケース会議などで理念に基づいた対応をされています。記録などは、管理者や法人の管理者も目を通しておられ、理念を共有している事が記録から確認できました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	文化祭や小学校の運動会への参加、また、ホーム内でボランティアによる1日喫茶などを行い、地域交流に尽力されていました。		検討事項ではありませんが、今後、文化祭への作品の出展や、散歩や買い物の機会を増やし、交流を深めたいと考えておられます。現状に満足せず、地域交流を積極的に行いたいとの姿勢が伺えました。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価で表面化した課題に向けて、月に1回会議を行い改善に向けて取り組まれました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回開催。社会福祉協議会、民生委員、地域包括支援センター、ご家族が参加して開催されていました。参加者が意見を出しやすい雰囲気作りをしながら、意見交換、改善への話し合いが行われていました。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人全体として市町村と関わりを持たれています。その他、グループホーム協会に加盟し、他のホーム職員との交流や見学・研修会に積極的に参加しサービス向上に取り組んでおられました。		サービス向上に向けて、研修会や他ホームとの交流や研修などが盛んに行われており、他ホームとサービス向上に向け尽力されていました。市町村にも呼びかけ、一体となって取り組む事で、地域福祉の増進につながると感じました。今後の取り組みに期待しています。
4. 理念を实践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に近況報告を積極的に行われていました。また、面会が遠のいている方へのご家族へも面会要請や近況報告を行っておられました。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事故・苦情委員会を設置。迅速に対応できる仕組みがありました。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に留めておられました。また、異動がある時は離職する職員と新しい職員が一定時期重なる様配置するなど、入居者への配慮がなされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内で研修委員制度があり研修や外部研修の定期的な計画がなされていました。また、外部研修は伝達研修として、全職員が確認し、職員育成をしておられました。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協会に加入。研修や他施設への実習等等、職員育成が積極的に行われていました。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前に見学に来て頂き、入居者の方と共に過ごして頂く事や、入居後はご家族の面会や外泊を薦め、ご家族にも関わりを持って頂きながら、徐々に生活に慣れて頂ける様配慮されていました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者の方と共に日常生活の場面で、職員と一緒に掃除や食器洗いをしておられました。また、梅干作りなど、入居者の経験して来た事を職員が教わったりし生活を送られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の意見や意向を、日常生活から汲み取ったり、ご家族との会話などから聴き、把握に努めておられました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケース会議での検討。また、ご家族や入居者の意向を聞きながら作成されていました。サービス担当者会議もしておられ、チームケアに取り組んでおられました。</p>		<p>介護計画書から、ご家族やご本人からの意見の聞き取りなどを読み取る事が確認出来ました。ホーム内での担当者会議実施記録があり、しっかりと管理しておられました。ケア方針がよく分かりました。出来れば、いつ、ご家族、ご本人と話をしたのかの記録もあれば、ホームでの取り組みの経過が明確になると感じました。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度定期的な見直しを行い、また変化が生じた場合には関係者で話し合いを行い、現状に即した新たな計画を随時作成されていました。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>特養やケアハウス・診療所等と併設されたホームであるため、その多機能性を存分に生かした、きめ細かい医療・福祉サービスの提供がなされていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者や家族の希望されるかかりつけ医のもとで適切な医療（受診・往診等）が受けられるよう配慮されていました。また、ホームに併設する診療所での診察も可能となっていました。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医師・家族・職員等の関係者で話し合い、ホームでの入居継続、もしくは施設や医療機関等への変更といった方針を決定し、共有されています。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉遣いに関する事項は書面にて周知徹底を図っておられ、記録等の個人情報については所定の部屋からの持ち出しを禁止されるなど、プライバシーの確保の徹底がなされていました。また、職員の言葉かけや姿勢からも配慮や温かみを感じられました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>定期的に入居者の意向を聴取し、記録に残しておられました。また、得られた希望等を日々の過ごし方や介護計画に随時反映されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の希望を組み入れながら毎日の献立を作成し、下ごしらえ・盛り付け・配膳・食事・後片付けといった一連の流れも、利用者と職員が一緒に行っておられました。また、食事中は終始和やかでゆったりとした雰囲気でした。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯の制限が見られましたが、入居者からの不満や新たな要望は今のところないとのことでした。	○	入居者の希望次第ですが、一例として夏期の入浴回数を増やしたりといった取り組みに今後期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	過去の生活歴や入居後の暮らしぶりを観察しながら、個々に見合った役割や楽しみごとが見出せるよう、適切な働きかけや意向聴取に努めておられました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的なショッピングやドライブ、散歩などの機会が確保されており、またご家族の協力を得ながら、一時帰宅できるような配慮も見られました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関・居室ともに自由に入出入りが可能となっていました。なお、外出の希望があれば職員が付き添い散歩等に出かけておられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、災害対策の研修会及び訓練を実施されています。ビデオ研修・入居者参加型の避難訓練・消火機器の扱い方・マニュアルや緊急連絡網の確認など、内容がとても充実していることが資料や写真等で確認できました。	○	地域住民へのPRの方法を模索されることを今後期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日最低でも5回は水分を摂取できるよう、定期的な機会を確保されていました。また、食事が低下傾向にある入居者については、早い段階で主治医や看護師に相談し、適切な援助を行うなどの配慮も行っておられました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間はとてもゆったりとしており、不快な音や光は一切見受けられませんでした。また、季節を身近に感じていただけるよう、花や外出時の写真などを掲示されていました。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みの制限は特に無く、各居室には思い思いの馴染みのものが設置されていました。また入居後ご本人からの希望があればご家族に持ち込みを依頼されるなどの配慮も随時行っておられました。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。